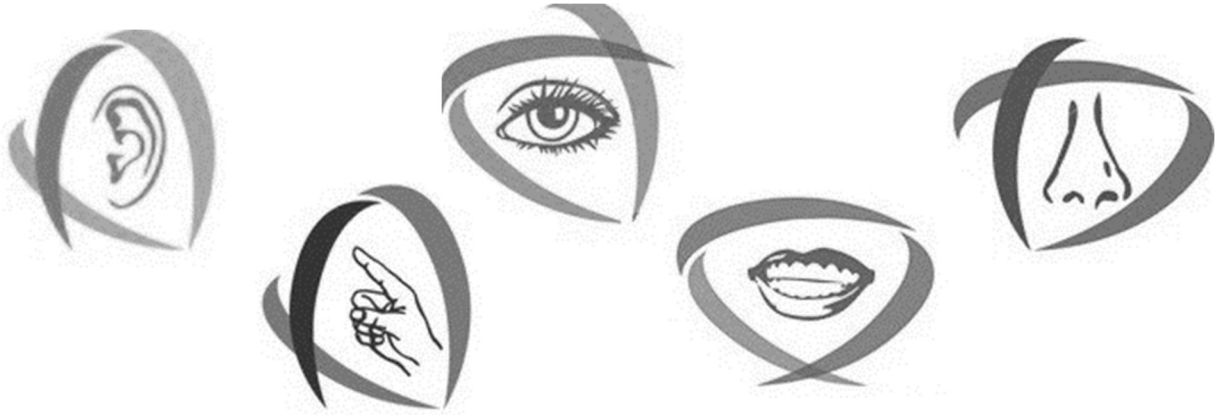


子どもも大人も楽しい

親子味覚教室

IDGE（子どものための味覚教育研究会）主催

五感を使って感じて、考えて、伝えて
伸ばそう！ かんさつ はんだん ひょうげん
観察力、判断力、表現力



自分の五感で感じるができるのは自分だけ
いつも食べているあれも・・・ 良く知っているあれも・・・ 五感を全部使って感じてみたら？
みつけよう！自分だけの^{しんはっけん}新発見

味覚教育は 40 年前に食文化の国フランスで始まりました。五感で感じ、考え、表現することが特徴です。

五感を使って食べものと向き合うことを入り口に、自分で感じて考えて判断する“力”、感じたことを表現する“力”、人に伝えて認め合う“力”を育てます。そしてそれらの“力”は、主体性を育て、より良く生きるための選択肢と可能性を広げ、人生を豊かにします。

親子味覚教室では、児童と保護者が同じ内容を別の教室で受講し、後半の時間に体験を共有します。親子で同じことを学ぶことで、家庭での会話も増え、学んだことが生活の中で生きてきます。また、親子でも感じるものが違うことが分かり、お互いを理解することにつながります。

各回のプログラムは、大人にもとても楽しい内容です。様々な発見があつて、日頃の生活の視点や食べものとの接し方がきっと変わります。保護者の方もできるだけ多い回数参加してください。



味覚教育で楽しく伸ばす！
感性、表現力、より良く楽しく生きる力

開催日時： 2022年7月～2023年3月(日程はプログラム参照)月1回土曜日(9:30～11:30)全8回
児童は分割受講できません
保護者は「全8回」、「初回と最終回」、「初回と最終回を含む希望回」から選べます(初回と最終回は必須です)

会場： 文京区立誠之小学校(東京都文京区西片2-14-6)

対象・定員： 2022年度3年生～6年生児童とその保護者、親子10組(最少開催人数：親子5組)

持ち物： 筆記用具、色鉛筆、ハンカチ、上履き、エプロン、三角巾 など

参加費： 親子ペア割引価格2人1組1回1,500円(定価1人1,000円、児童のみ参加の回は1回1,000円)
1回目に1年8回分集金します
(親子共に全8回参加の場合12,000円、保護者は初回と最終回のみの場合9,000円、保護者の参加回数が3回～7回の場合はお申込み後参加費をお知らせします)

申込み方法： メールで idge@interpr.jp までお問い合わせください。申込みフォームをお送りします(PCアドレスからの返信を受け取れる設定にしてください)。

※ 申込みが定員を超えた場合は抽選になるためお申込みをもって参加確定とはなりません。
ご参加いただけるかどうかは6月23日までに結果を連絡します

申込み期限： 2022年6月17日(金)

プログラム： 全8回の通年実施の教室です
児童は分割受講できません。
保護者は第1回と第8回は必ず受講してください。その他の回もできるだけ参加してください。

第1回	7月2日	自分の五感を感じてみよう
第2回	8月27日	視覚と嗅覚を使って味わってみよう
第3回	10月29日	触覚と聴覚を使って味わってみよう
第4回	11月26日	味覚を妨害するもの感じてみよう
第5回	12月24日	感じたことを絵にかいてみよう
第6回	1月21日	食べものが語るもの 行事、日本文化、産地、生産者、調理人
第7回	2月4日	自分好みの味に調理してみよう
第8回	3月4日	つくった食をみんなで分かち合おう

※味わうことは体験しますが昼食になる量ではありません

※各回のテーマは変更となる場合があります

講師： 石井克枝(IDGE会長、千葉大学名誉教授、全国家庭科教育協会副会長)
(50音順) 佐藤雅子(聖徳大学人間栄養学部人間栄養学科)
田尻 泉(IDGE代表・副会長、味覚教育プログラムコーディネーター)
露久保 美夏(東洋大学食環境科学部食環境科学科)
その他講師とアシスタントは全員フランスの味覚教育セミナー修了者です

主催者： IDGE(子どものための味覚教育研究会)は、フランスで味覚教育を提唱したジャック・ピュイゼ博士の理論を基礎として、日本の食文化と生活習慣、教育制度に根差した味覚教育の研究とその実践を行っています。

誠之小学校の親子味覚教室が紹介されました



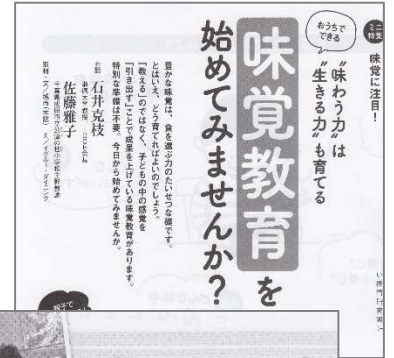
日経新聞 2017年3月17日



朝日小学生新聞
2016年12月24日



毎日新聞 2015年8月30日



栄養と料理 2017年10月号